

マスコミで見るURCの今－最近1ヶ月間の情報を中心に－

◎新聞 記事は資料室で読めます。

2010.12.3 杭州日報 3p

金都集団、中国人居環境探索的先鋒-熱烈祝賀“第六届中国人居環境高峰论坛”圓滿結束
杭州市で開催された学会で、松本法雄副理事長が福岡市の景観について講演

2010.11.14 西日本新聞 朝刊 5p

地域への提言 競争と協奏－九州新幹線来年3月全通－福岡アジア都市研究所理事長 榑木武氏
交流活発化し光広げよ と語る。

2010.11.13 読売新聞 朝刊 38p

乱戦 2010福岡市長選 不況「人集まる施設を」天神・大名の商店主ら悲鳴
新井直樹研究主査が行った博多港に寄港した中国クルーズ船の乗客アンケート調査の結果が引用
される。さらに中国人観光客のニーズに合わせた戦略の必要性を語る。

◎雑誌 記事は資料室で読めます。

2010.11.5 道守通信 vol.20 秋号 2～3p

特集:道守九州会議 発足7周年「万葉の風とともに歩む道守」を榑木武理事長が執筆

2010.11.5 道守通信 vol.20 秋号 4～6p

特集:道守九州会議 発足7周年道守各県代表者座談会「これまでの道、これからの道」に榑木武理
事長がアドバイザーを務める。

2010.11.5 道守通信 vol.20 秋号 7～9p

玄界灘風景街道シンポジウム 都市連携で魅力発信へ 新幹線「絶好の条件」住民、NPOと“協働”
10月1日に実施された当研究所の第3回都市セミナーでもあるシンポジウムが報告される。

2010.11.5 道守通信 vol.20 秋号 19p

平成22年2月26日、日本風景街道九州ネットワークの設立総会を開催 理事に榑木武理事長が就
任 前年度の市民研究員藤原正教氏が事務局のシニアサポーターとして協力

◎テレビ

2010.12.1 365視頻 長三角第一地産網絡視頻平台

2010年12月1日、备受瞩目的“第六届中国人居环境高峰论坛”在余杭临平新城隆重拉开帷幕。

<http://news.hz.house365.com/video CMS.php?id=010213741>

杭州市で開催された学会で、松本法雄副理事長が福岡市の景観について講演

◎ラジオ

2010.12.1 Love FM The TIMES Curio City FUKUOKA 9:00～

天神でLOVELYちくご VOL.2 山下永子主任研究員が筑後田園都市推進評議会のイベントをPR

所員雑感 選ばれるための都市戦略

この11月、オーストラリアのメルボルンに出張させていただいた。目的はメルボルン市が共同主催開催する「ナレッジシ
ティズ・ワールド・サミット」に参加し、世界の都市の「知識都市地域(ナレッジシティ・リージョン)」への取組み、ベストプラ
クティスを学ぶとともに、参加者およびメルボルンの行政・大学の方々とのネットワークを形成することであった。

私にとってメルボルンへの訪問は2回目で最初は3年前。実は両方とも、平成22年に福岡市において開催された「国際
地域ベンチマーク協議会第3回福岡会議(単体では、国際知識経済都市会議、と称す)」との関連での訪問だった。

国際地域ベンチマーク協議会(世界の10都市が参加:シアトル、バンクーバー、バルセロナ、ミュンヘン、ストックホル
ム、ヘルシンキ、ダブリン、福岡、大田、メルボルン)は、3年前に発足し、これまで第1回会議がシアトル、第2回はバルセ
ロナで開催されてきているが、3年前は、第1回の開催前の時期で、福岡としてどういう態度や期待を持ってこの会議に
参加すべきか検討していたときであり、ちょうどアジア太平洋都市サミット関係でブリスベンに出張予定があったこともあ
り、メルボルン市に足を伸ばし、ベンチマーク協議会に関する意見交換をしてきたという次第だ。

今回は、URCが国際知識経済都市会議実行委員会から受託した「福岡地域における知識創造と知識経済に関する
基礎調査研究」(近日HPに報告書UP)でメルボルンの事例研究をしていくなかで、そのすごさを実感し、「きちんと話を
聞き、現地で体感しよう」そう思ったことがきっかけとなつての訪問である。

ここでは紙幅に限りがあるので、メルボルンのすごさは、1月14日に開催するメルボルンに関するミニ
セミナーで詳しくご紹介したいと思う。この3年でメルボルンは街自体が大きく変わっていた。「選ばれる
都市」が「選ばれたあとも支持され、また来たい」そう思わせるまちづくりが随所で見られ、完結していた。
無料の都心交通、レンタサイクル(ヘルメットの自動販売機もあり)、リバーサイドの景観、コンベンショ
ンエリアの充実、ハーバーエリアのニュータウン。。。

ミニセミナーで、語りつくすことも難しいかもしれないが、なるべくホットな記憶のうちに、お話をさせて
いただきたいと考えているので、ぜひ、本セミナーに足をお運びくださいませ。

(山下永子主任研究員)

